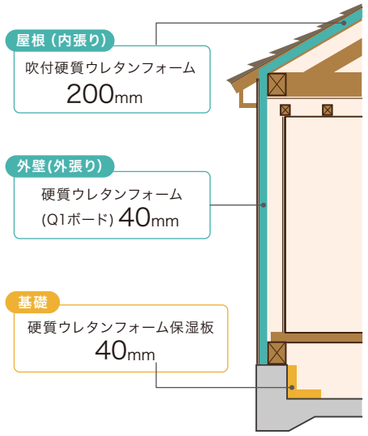
標準設備

Standard Equipment

当商品に搭載している設備をご紹介

LINE UP

外張り断熱（屋根断熱＋基礎断熱）



制振ダンパー

住宅用に設計された
住宅専用の油圧式ダンパーです。

耐震構造をしなやかに、
そして強くする

evoltz × BILSTEIN
Innovative collaboration with a global part maker

地震対策

高性能樹脂サッシ(NS50)

窓の開口部は、
外張り断熱でも包み込むこと
はできません。

四季を通じて快適に暮らすには、窓や開口部の性能を高め、暑さや寒さの影響を最小限に抑えることが重要です。

EXCEL SHANON 株式会社エクセルシャノン

高性能熱交換換気システム

第一種換気／Panasonic製

IAQ制御搭載の熱交換気システムが四季に対応した最適な換気により快適な空気環境づくりをサポートします！

住宅設備（ミドルグレード）

太陽光発電 10.50kW 搭載

クリーンなエネルギーで
環境にも家計にもやさしい。

蓄電池 14.9kWh

停電・非常時にも生活に
必要な電気が使えて安心！

V2H

太陽光で発電した電気を
電気自動車に蓄えて効率的に
使えます！

プラチナコート 30年保証

ベタ基礎

金物工法

木造軸組工法＋真壁パネル工法

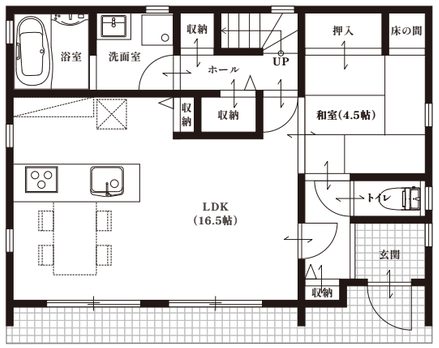
長期30年保証制度

住宅設備10年保証制度

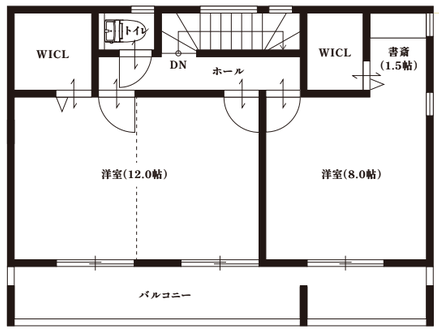
参考プラン

Reference Plan

1階床面積／57.14㎡　2階床面積／49.68㎡　延べ床面積／106.82㎡(32.31坪)



1st floor

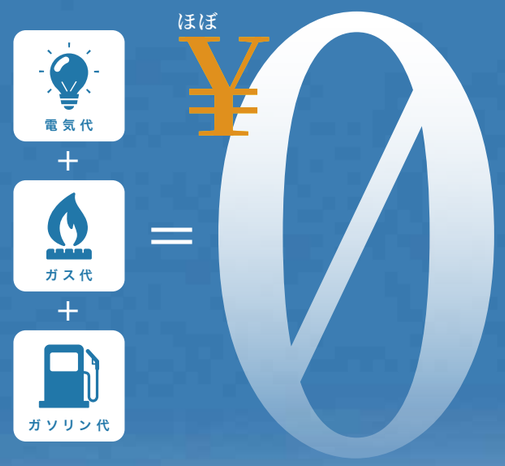


2nd floor

260312

※本リーフレットに使用している画像は全て参考イメージになります。

物価高
エネルギー代高騰の
時代の答え「自給自足」



50年間で
約3,000万円以上節約できる
新商品が誕生しました。

エネージュ

ENEGE 2050

UA値 0.42 (W/㎡･k)

30坪

本体価格 **2,590万円**

税込 2,849万円 ※付帯工事費別

ヤマト住建

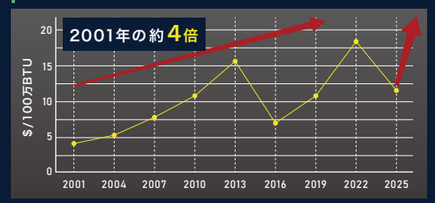
住宅は購入費用ではなく、生涯コストで選ぶ時代。

このエネルギー価格高騰時代を生き抜くために、私たちに今できることは何か？

日本で深刻となっている エネルギー価格高騰

ウクライナ戦争や新型コロナ後の経済回復の影響により、天然ガス・石油・石炭などの化石燃料価格が高騰しています。この影響は電気代の値上がりにもつながり、今冬は多くのご家庭に大きな負担となっています。ライフラインである電気を安心して使い続けるために、今できることは何か？

日本の天然ガス価格の推移（年次）

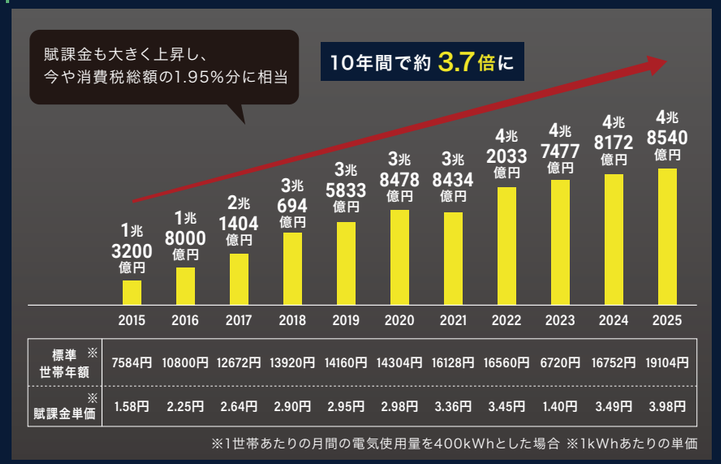


※参考「世界の経済・統計情報サイト」＜世界経済のネタ帳＞

USドル／円の為替レートの推移（月次）

※参考「三菱UFJ銀行HP」＜外国為替相場チャート表＞

再生可能エネルギー発電促進賦課金の推移



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
標準世帯年額※	7584円	10800円	12672円	13920円	14160円	14304円	16128円	16560円	6720円	16752円	19104円
賦課金単価※	1.58円	2.25円	2.64円	2.90円	2.95円	2.98円	3.36円	3.45円	1.40円	3.49円	3.98円

※1世帯あたりの月間の電気使用量を400kWhとした場合 ※1kWhあたりの単価

※参考「新電力ネット」＜再生可能エネルギー発電促進賦課金について＞

家計を圧迫する 高騰し続ける光熱費

3.11東日本大震災以降、日本のベースロード電源であった原子力発電所の多くが停止。その結果、燃料を輸入に頼る火力発電の割合が増え、燃料価格の高騰により「燃料費調整額」は上昇傾向にあります。さらに、太陽光発電などの再生可能エネルギー普及に伴う「再エネ賦課金」も年々増加。こうした影響により、かつて割安だった深夜電力も震災前と比べて大きく値上がりしています。

電気料金の仕組み

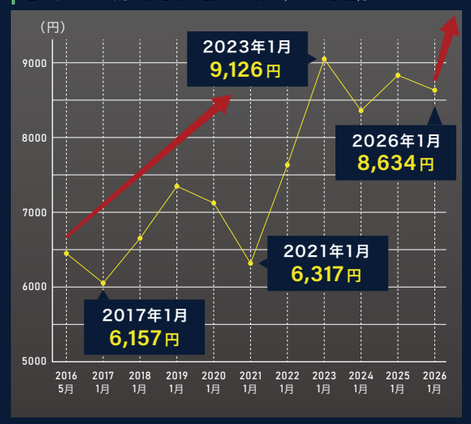
火力発電の燃料の仕入れ額が基準額を上回る時はプラスになります

電気料金 ＝ 基本料金 ＋ 電力量料金（電気の使用量(kWh) × 単価） ＋ 託送料金（使用済核燃料再処理費用／電源開発促進税） ± 燃料費調整額（電気の使用量(kWh) × 単価） ＋ 再生可能エネルギー発電促進賦課金（電気の使用量(kWh) × 3.98円／kWh(2025年度)）

太陽光発電の売電量がマイナスします

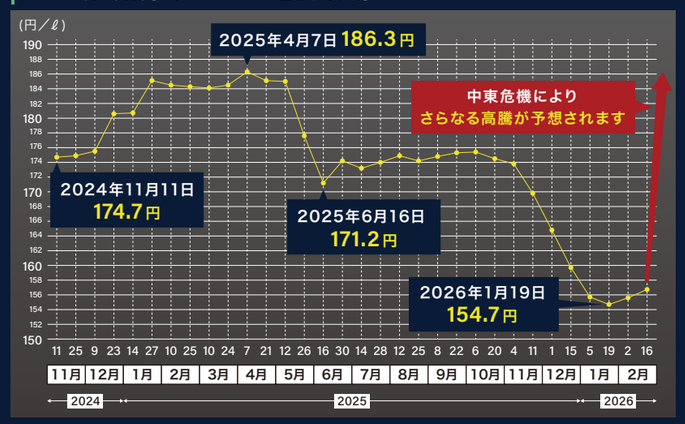
4人家族が毎月自家消費する300kWh以上を自給自足できる暮らしを提案

電気代の高騰【東京電力の電気代の推移(モデル家庭)】



※参考「東京電力ホールディングスHP」＜電気料金・制度＞

ガソリン代の高騰【レギュラーガソリン 全国平均価格】



※参考「WEPICKS」＜【レギュラー値段】全国料金早見表と推移グラフ＞

2050

太陽の力で発電と蓄電

電気を自給自足する未来の暮らしを実現

1年目から10年目の節約効果

1日の発電量 34.5kWh/日 － 昼の自家消費電力 5kWh/日 － エコキュート 3kWh/日 － 蓄電池 7kWh/日 － EV車 4kWh/日 ＝ 1日の売電量 15.5kWh/日

※375Wの太陽光パネルを28枚使用し、太陽光kWあたりの年間発電量が1,200kWhとすると(地域によって異なる)年間12,600kWh発電し、365日で割ると1日あたりの発電量は34.5kWhと想定。

売電量：1日の売電量 15.5kWh/日 ×365日÷12カ月＝ 1ヵ月の売電量 471kWh/月 × 売電単価(10年平均) 14.58円/kWh ＝ A 1ヵ月の売電額 6,867円/月

電気料金：導入前の電気料金 24,500円/月※1 － 導入後の電気料金 0円/月 ＝ B 節約できた電気料金 24,500円/月

燃費費：燃費1日あたり ガソリン車※2 510円/日 － EV車※3 58円/日 ＝ 452円/日 ×365日÷12カ月＝ C 節約できた燃費費 13,748円/月

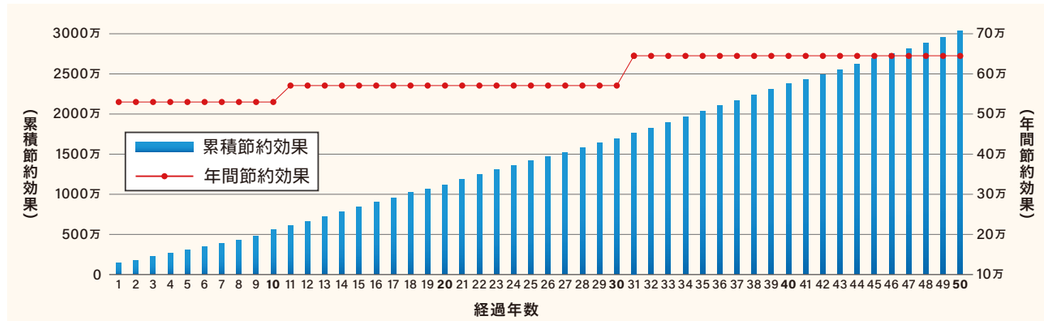
A＋B＋C 1ヵ月あたりの節約効果 計 45,115円

※1）1ヵ月の電気使用量を月平均700kWhとして、1kWhあたりの購入価格を1～10年目を35円／kWh(再エネ賦課金を含む)として計算。※2）ガソリンは1Lで10km走るとして、ガソリン購入1Lあたり170円、1日30km走ると170円×3.0L／日=510円／日。※3）EV車は1kWhで7.5km走るとして、売電価格は1kWhあたり14.58円、1日30km走ると14.58円×4kWh／日= 58円／日。

50年間でこれだけの節約効果が生まれます

	1～10年目の節約効果	11～30年目の節約効果	31～50年目の節約効果	50年間の節約効果
売電収入	10年間で約82万円※1	20年間で約105万円※2※3	20年間で約93万円※2※3	約280万円
電気料金（買電収入）	10年間で約294万円※4	20年間で約672万円※5	20年間で約840万円※5	約1,806万円
ガソリン代	10年間で約165万円※6	20年間で約403万円※7	20年間で約394万円※7	約962万円

売電収入・電気料金（買電収入）・ガソリン代の節約効果は 合計 約3,000万円以上



※1）1日の売電量15.5kWh×365÷12ヶ月=471kWh／月とし、1～10年目の売電平均単価14.58円として471kWh／月×14.58円=約6867円／月の売電額を算出し、約6867円／月×12ヶ月=82.404円／年として計算。※2）太陽光パネルの経年劣化を考慮し、1kWhあたりの年間発電量を11～30年目は90%、31～50年目は80%として計算。※3）売電単価は11～30年目を12円、31～50年目を15円と想定し計算。※4）1ヵ月の電気使用量を月平均700kWhとして、1kWhあたりの購入価格を1～10年目を35円／kWh(再エネ賦課金を含む)として700kWh×35円／kWh=24,500円／月。24,500円／月×12ヶ月=294,000円／年として計算。※5）11～30年目を1kWhあたりの購入価格40円／kWh、31～50年目を1kWhあたりの購入価格50円／kWhとして計算。※6）ガソリン車は1Lで10km走るとして、ガソリン購入1Lあたり170円。1日30km走ると想定し、170円×3.0L／日=510円／日。EV車は1kWhで7.5km走るとして、売電価格は1kWhあたり約14.58円。1日30km走ると想定し、14.58円×4kWh／日=58円／日。【ガソリン車】510円／日－【EV車】58円／日=452円／日。1カ月あたり、452円／日×365÷12ヶ月=約13,748円／月として計算し、1年間あたりを13,748円／月×12ヶ月=164,976円／年として計算。※7）ガソリン購入11～50年目は1Lあたりの200円、EV車の売電価格は11～30年目を12円、31～50年目を15円と想定。